

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	・年2回全体の消防避難訓練があるが、夜間帯の火事を想定した訓練が行えていない。 ・地震後の津波の避難を想定し、避難場所までの誘導訓練を行う。	非常時に、緊急連絡網が機能するよう連絡訓練を行う。夜間帯や地震後の津波に対し、非常時を想定した、避難誘導體制を整える。	・緊急連絡網がうまく機能するのか実際に連絡網を活用して、連絡訓練行う。 ・夜間の火災を想定した避難訓練行う。 ・津波を想定した避難場所までの避難誘導を行う。	12 か月
2	14	同業者との情報交換や交流が少ない。	グループホーム協会の事例検討会等、事業所が多く集まる所での交流だけで終わらず、事業所と事業所としての交流をする。	・外部の研修会等の機会を積極的に活用し、他事業所の職員さんとの情報交換や交流を深める。 ・同一法人内のグループホームほのぼのと合同外出など企画する。	12 か月
3	2	地域との交流が少しずつ増えてきているが、新しいことを探してみることも必要ではないか。	新たな地域の行事に参加する。ひなたぼっこの運営理念どおり、参加できる地域行事を見つけたし、利用者と地域をつなげていく。	・ひなたぼっこで何かできないか？職員間で話し合いを行い、実現に向けて努力したり、運営推進会議委員の皆様とも相談させていただく。 ・地域への情報網を広げ、地域のイベントに積極的に参加していく。	12 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。